

室内用手すりコーナー支柱(アジャスト付)木製 BDE-37

取扱・施工説明書

この度は当製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
 ☆安全にご使用頂くために施工の際によくお読み頂き、以下の事を必ずお守りください。
 ☆この取扱説明書は大切に保管してください。

梱包部品明細

室内用手すりコーナー支柱 1本
 木製(アジャスト付)

同梱部品は2袋に分かれています。

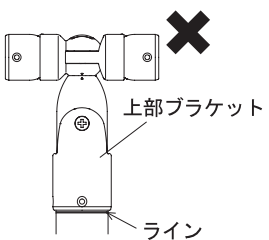
部品袋①		部品袋②	
	ねじ隠しキャップ 1個		ソケット取付けねじ 6本 (⊕なべタッピンねじ6×40)
	φ32用スペーサー (コーナー・エンド用) 2個		ソケット取付けアンカー 3本 (オールアンカーCタイプ M10×60)
	支柱上部固定ねじ 2本 (⊕丸皿タッピンねじ1種4×20)		アンカー用座金ナット 3個 (セレート付フランジナットM10用)
	手すり取付けねじ 4本 (⊕丸皿タッピンねじ1種3.5×16)		六角棒スパナ(呼び5) 1本

取扱上の注意

- 玄関・床を掃除する際、ソケット内部に水分が入らないように注意する。ソケット内部は通気性が悪く、腐食の原因となる。
- 長年使用しているとボルトやねじ類がゆるむことがあるので、定期的にゆるみを確認し、締め直す。

施工上の注意

- 当製品は室内用。屋外では使用しない。
- φ35、φ32手すり兼用。
φ32手すりを使用する場合は、φ32用スペーサーを使用する。
- 支柱取付ピッチは φ35手すりの場合、900mm以内
φ32手すりの場合、700mm以内で取付ける。
- 端部の持出しの長さは φ35手すりの場合、150mm以内
φ32手すりの場合、140mm以内とする。
- 支柱を取り付ける下地の確認を必ず行う。
木製下地の場合、厚さ40mm以上
コンクリート下地の場合、厚さ100mm以上
- 高さ調整をしない場合も、支柱上部固定ねじで支柱上部を必ず止める。
- 支柱を高くする場合、調整可能寸法は20mm。
支柱に高さ調整の限界を示すラインが入っている。
支柱上部の固定ができなくなるので、上部ブラケットの
下端がラインを超える調整はしない。



施工手順

- 支柱位置を決める。
- 支柱を取付ける。
【木製下地の場合】
 - カバーをはずす。
 - 取付け穴の位置に墨だしをする。
 - φ4.8mm 深さ40mmの下穴をあける。
 - 付属のソケット取付けねじで6か所を固定する。
 - カバーをかぶせる。
- 支柱を取付ける。
【コンクリート下地の場合】
 - カバーをはずす。
 - 取付け穴の位置に墨だしをする。
 - φ10.5mm 深さ45mmの下穴をあける。
 - 付属のソケット取付けアンカーを3か所に打ち込む。
 - アンカー用座金ナットで締付ける。
 - カバーをかぶせる。

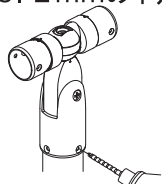
続きは裏面へ

施工手順

3. 高さ調整をする。

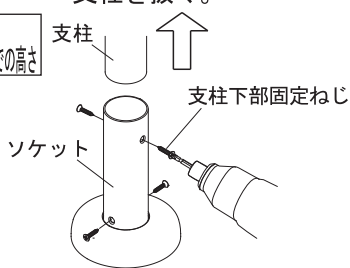
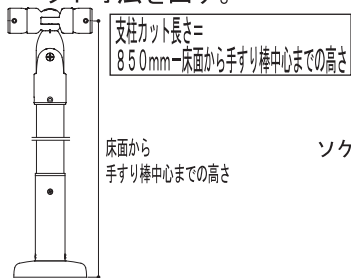
【高さ調整をしない場合】

- ①φ3.2mmの下穴をあける。
- ②付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定する。

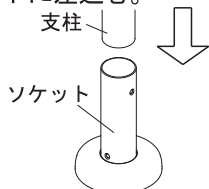


【高さを低くする場合】

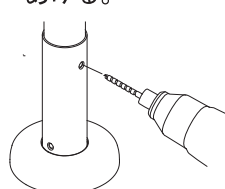
- ①床面から手すり中心までの高さを決め、支柱のカット寸法を出す。
- ②支柱下部固定ねじを4か所はずし、ソケットから支柱を抜く。
- ③支柱をカットする。



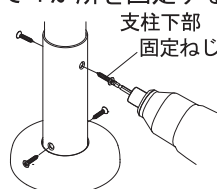
- ④カットした支柱をソケットに差込む。



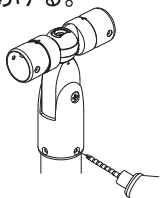
- ⑤φ3.2mmの下穴をあける。



- ⑥②でははずした支柱下部固定ねじで4か所を固定する。



- ⑦φ3.2mmの下穴をあける。

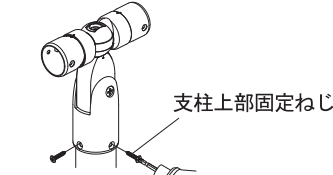
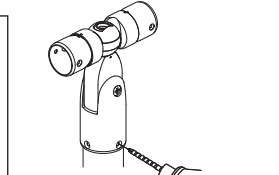
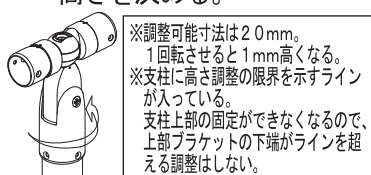


- ⑧付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定する。



【高さを高くする場合】

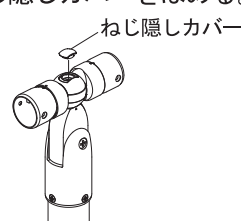
- ①支柱上部を左へ回転し、高さを決める。
- ②φ3.2mmの下穴をあける。
- ③付属の支柱上部固定ねじで2か所を固定する。



4. 水平方向の角度調整をする。

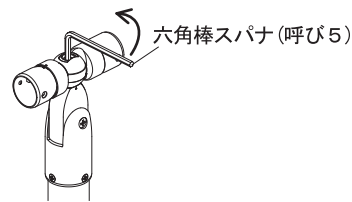
【水平方向の角度調整をしない場合】

- ①ねじ隠しカバーをはめる。

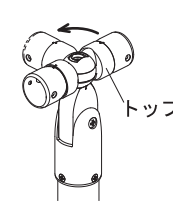


【水平方向の角度調整をする場合】

- ①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)でゆるめる。



- ②トップを回転させ、角度を調整する。

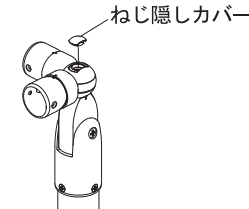


※角度調整の際は、必ず六角穴付きボルトをゆるめてから、トップを回転させる。

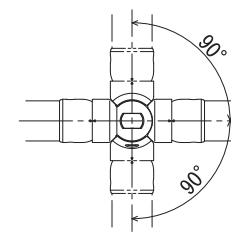
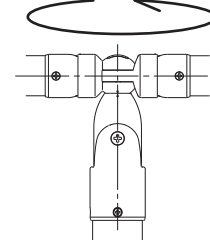
- ③六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。



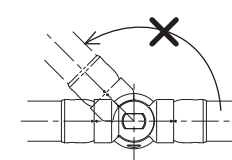
- ④ねじ隠しカバーをはめる。



— 水平方向の角度調整について —



鋭角にはできない



施工手順

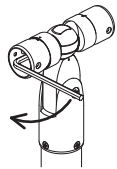
5. 上下方向の角度調整をする。

【上下方向の調整をしない場合】

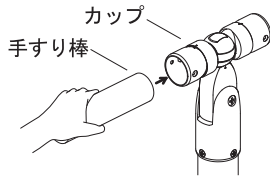
手順6.へ

【上下方向の調整をする場合】

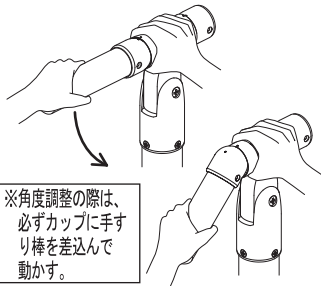
①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。



②手すり棒をカップに差込む。



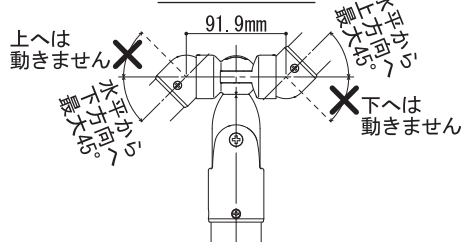
③差込んだ手すり棒を動かし、角度を調整する。



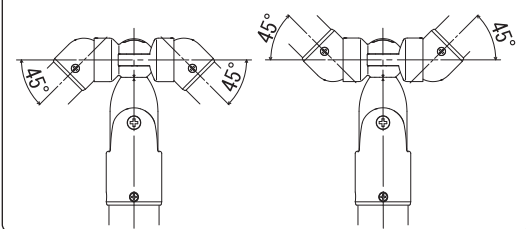
※角度調整の際は、必ずカップに手すり棒を差込んで動かす。

上下方向の角度調整について

梱包時の設定



カップの動く上下方向を変更すると…
両側のカップを下向きや上向きで使用可能

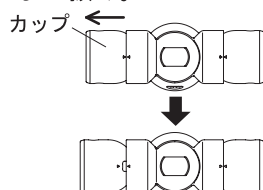


カップの動く上下方向の変更手順

①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)でゆるめる。



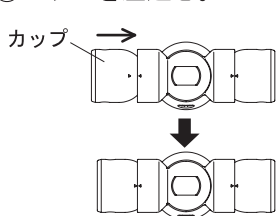
②カップが回転できる位置まで抜く。



③カップを180°回転させる。



④カップを差込む。

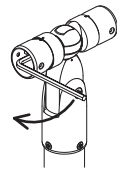


⑤六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。

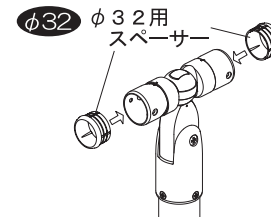


6. 手すり棒を取付ける。

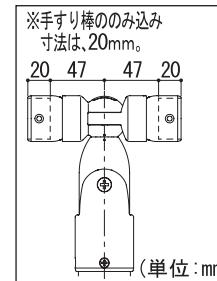
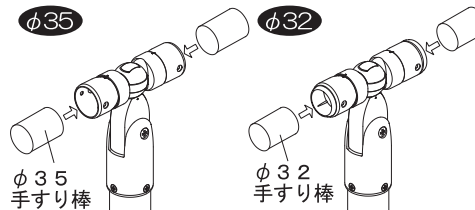
①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。



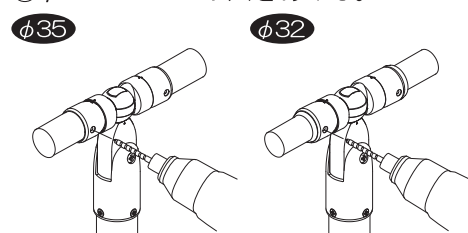
②φ32の手すり棒を使用する場合は、付属のφ32用スペーサーをカップに差込む。



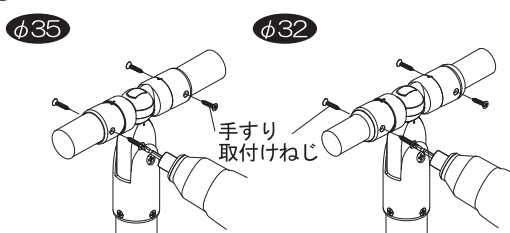
③手すり棒をカップに差込む。



④φ2.8mmの下穴をあける。



⑤付属の手すり取付けねじで2か所固定する。



参考

支柱を3本以上使用する場合の通り出し、レベル出しをする場合

【手順】

1. 施工手順の『2. 支柱を取付ける』の際に、床面への固定を仮固定とする。
2. 基準とする位置(通り・レベル)を決め、両端の支柱間に糸を張る。
3. 中間の支柱の位置(通り)を張った糸に合わせる。
4. 支柱を完全に固定する。
5. 高さ調整し、中間の支柱の位置(レベル)を張った糸に合わせる。

